

東日本大震災

3月11日午後、日本の東北地方の海底でマグニチュード9.0の巨大な地震が発生し、すさまじい津波を引き起こし、死者1万人、行方不明者2万人を出し、家屋10万戸が倒壊あるいは流失した。岩手、宮城、福島三県は深刻な被害を受け、被災者は何と数十万人以上にのぼった。

福島県内の数カ所の原子力発電所は、今回の地震と津波で、一部分がはげしく破壊され、原子炉の温度が上がりつづけ、非常に危険な状態になった。消防隊、自衛隊などの関係機関の隊員が原子炉を冷却するために命がけで水を撒布したが、予期していた効果は得られなかった。やがて放射線が漏出し、大気中に拡散しはじめた。

原子力発電所の周辺住民は、ただ政府の指示に従って別の地域に避難するしかなかった。このあと放射線はさらに広大な範囲に拡散し、関東地区の野菜や、原発から数百キロ離れた東京の水道水まで汚染されてしまった。これにより政府はまた、汚染された野菜を市場に運ぶことは禁止する、東京23区の住人はしばらくのあいだ乳幼児に水道水を摂取させないように警告する、などなどの指示を出した。その結果、関東地区産の野菜は全国のスーパーから一つずつ消えてしまった。東京では乳幼児のいる家庭では恐慌状態が起こり、あらゆる場所で汚染されていないきれいな水を求めて走りまわり、我が家のそばのスーパーの棚からもミネラルウォーターが一瞬にして見えなくなった。そのほかにも、東京ではほとんど毎日、停電になった。余震は絶え間なく発生した……事がここまで発展すると、人々の不安は一日一日と大きくなった。

地震が発生したとき、私は八王子のある病院の待合室にいて診察の順番を待っていた。最初、私は恐ろしさは感じなかった。ただ、地震の揺れがおさまらなかったもので、心臓がどきどきしはじめて、最後には驚きで言葉もでなくなった。周

电台里报道，宫城县仙台市也遭到甚大的灾害，许多房屋被地震所引起的猛烈海啸冲走了。哎哟，仙台！我曾经住过的那个可爱的仙台啊！很多朋友住的“树林之城”仙台啊！……我急忙往仙台了好几次电话，可是怎么也不通，根本就无法知道那里的朋友们是否平安。五天后，电话好不容易才通了，我得知老朋友们都平安无事。他们的声音显得很精神，我才放了心，可同时也得到几位我认识的人不幸去世或者失踪的消息！

地震或海啸是个“天灾”，然而这次放射性物质的大量泄漏，即使是出乎预料的大地震所引起的，也应该说是一种“人祸”吧。有些专家再三指出原子能发电的危险性，然而，只顾追求效率与经济利益的电力公司和政府，对那些专家的意见与居民的安危置之不顾，极力强调原子能发电的“安全性”，因而一直坚持原子能发电站的增设。但是，原子能发电站大量漏出了放射性物质的这一事实清楚地证明，电力公司所讲述的“安全性故事”，其实只不过是个“神话”而已。

我想大声疾呼：政府应该以这次灾害为教训，彻底改变其能源政策。

(2011年3月)



东日本大震灾发生后大约过了一年的时间了，可是辐射线泄漏的那个问题仍旧悬而未决，为了避开污染而疏散到各地的许多居民还在陌生的地方被迫过着不尽人意的生活…… (2014年8月)

